

授業概要

本講義では、心理学の基礎的な理論について、具体的な研究事例を紹介しながら解説する。特に、人が社会の中で他者と関わりながら生きることに関する3つの研究領域（社会心理学・パーソナリティ心理学・臨床心理学）を中心に扱う。心理学研究で明らかにされてきた知見を、日常生活で経験する様々な事象と関連づけて理解することを目指す。

授業計画

第 1 回	ガイダンス：心理学とはどのような学問か
第 2 回	心理学研究法の概説
第 3 回	社会心理学①：自己と他者の関わり
第 4 回	社会心理学②：社会をどう見るか
第 5 回	社会心理学③：社会・集団の影響
第 6 回	パーソナリティ心理学①：パーソナリティ心理学とは何か
第 7 回	パーソナリティ心理学②：パーソナリティの分類
第 8 回	パーソナリティ心理学③：パーソナリティの影響
第 9 回	パーソナリティ心理学④：パーソナリティの形成・発達
第 10 回	臨床心理学①：臨床心理学とは何か
第 11 回	臨床心理学②：精神分析療法
第 12 回	臨床心理学③：クライエント中心療法
第 13 回	臨床心理学④：行動療法・認知行動療法
第 14 回	臨床心理学⑤：そのほかの臨床心理学的アプローチ
第 15 回	まとめと振り返り
第 16 回	筆記試験

※受講生の興味関心や進度に応じて、一部変更する場合があります。

到達目標

- ・心理学の基礎的な知識や概念について自分の言葉で説明できる。
- ・心理学研究がどのような方法で行われているのかを理解する。
- ・心理学の理論が日常生活の中で経験する事柄とどのように関連しているかを理解する。

履修上の注意

授業中は、講師からの説明だけでなく、受講者同士での話し合いの場を設ける。他の受講生とも協力しながら、主体的に授業に参加することを求める。春学期に開講される「心理学概論Ⅰ」を受講していることが望ましいが、必須ではない。

予習・復習

予習：指定した教材に目を通し、疑問点やもっとよく知りたい点を考えておくこと。
復習：授業で学習した内容について、分かった点やまだよく分からない点をまとめておくこと。
(予習や復習を通じて出てきた疑問点については、授業内でフィードバックを行う)

評価方法

学期末試験70%、授業内レポート20%、受講態度10%

テキスト

教科書は特に指定せず、毎回の授業時に適宜教材を配布する。
参考書：『心理学入門：こころを科学する10のアプローチ』坂口典弘・相馬花恵編 講談社